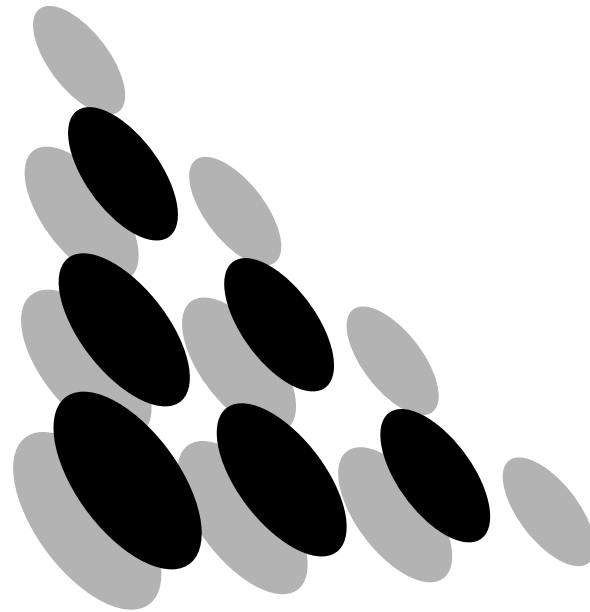


GRANPOWER 5000シリーズ

内蔵DATユニット

(GP5-DT202)

取扱説明書



はじめに

このたびは、GRANPOWER5000 シリーズ用内蔵DATユニット（GP5-DT202）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

本書は、内蔵DATユニット（以下、本製品）の取り扱いの基本的なことからについて説明しています。

お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

梱包物を確認してください

内蔵DATユニット（GP5-DT202）
修理サービス網一覧表
保証書
取扱説明書（本書）

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または弊社担当保守員までお申し付けください。

1997年 5月

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる際は次の点にご注意ください。

本書中の「**△注意**」には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品の取り扱いおよび操作の際には、「**△注意**」文をよくお読みください。

本書は、本製品の使用中いつでも参照できるよう、大切に保管してください。

△注意 について

正しく使用しない場合、次の危険性があることを示します。

傷を負う危険性

本製品やパソコン本体が破壊される危険性

内蔵DATユニットの特長

本製品は次のような特長を持っています。

- チ サーバ本体に内蔵するタイプなので、場所を取りません。
- エ 磁気記録方式により、何度でもデータの消去、書き込みが可能です。
- カ 記憶容量は、テープ一巻で4GB（圧縮時8GB）と大容量の情報が記録できます。
- キ 記録フォーマットはANSI DDS（Digital Data Storage）規格に準拠しています。

取り扱い上の注意

△注意

本製品は精密機器ですので以下のことに注意してください。

- ・ 極端な高温や低温の場所、または温度変化の激しい場所での保管は避けてください。
- ・ 直射日光のあたる場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- ・ 衝撃や振動の加わる場所での使用は避けてください。
- ・ 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。
- ・ 内部に液体や金属など異物が入った状態で使用しないでください。もし、何か異物が入ったときは、お買いあげの販売店または弊社担当保守員にご相談ください。
- ・ サーバ本体の電源を切るときは、データカセットを取り出してください。
- ・ 本製品前面の汚れは、やわらかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。
- ・ 寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合がありますので、お使いにならないでください。結露したままお使いになると、本製品やデータカセットを損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を入れてください。
- ・ お使いにならないときは、本製品からデータカセットを取り出してください。また、データカセットを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- ・ 本製品を分解したり、解体したりしないでください。

各部の名称と働き



本装置の特徴は、フロントベゼル中央に『DDS2のロゴ』、および『Digital Data Storage』の文字があることです。弊社保守員から装置の種類について問い合わせがあった場合などにご説明ください。

1 Tapeランプ (グリーン)

データカセットがローディングされているとき、点灯します。
また、下記のときに点滅します。

- ・テープからデータを読み出しているとき 高速で点滅します
- ・テープにデータを書き込んでいるとき 高速で点滅します
- ・テープをロードしているとき 低速で点滅します
- ・テープをアンロードしているとき 低速で点滅します

注：高速で点滅しているときは、データカセットを取り出さないでください。

2 Cleanランプ (オレンジ)

ハードが故障しているときに点灯します。
弊社担当保守員にご相談ください。

また、ヘッドの汚れまたはデータカセットの劣化により、訂正可能な内部エラーが多発しているとき、点滅します。書き込みおよび読み出しデータに異常はありませんが、エラーの発生を防ぐためヘッドの清掃を行ってください。清掃後も点滅が止まらない場合は、新しいデータカセットと交換してください。

読み出しができない場合は、数回ローディングを繰り返してみてください。

それでも読み出しができない場合は、弊社担当保守員にご相談ください。

3 取り出しボタン

ドライブに入っているデータカセットを取り出すときに押します。

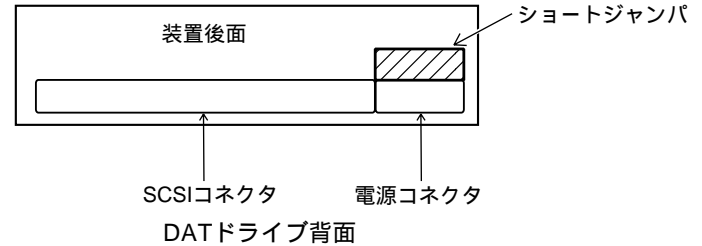
留意

サーバ本体の電源が入っていない状態では、データカセットのセット、取り出しはできません。

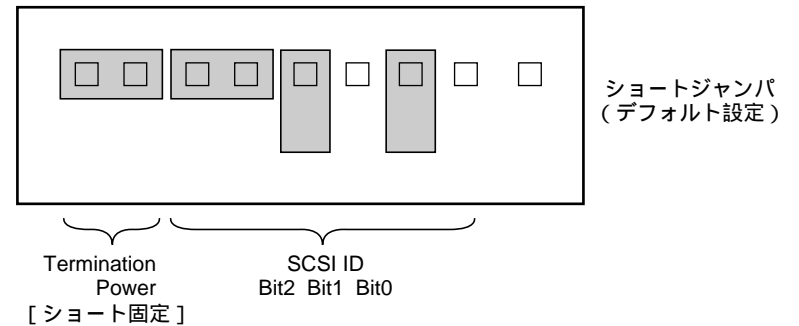
SCSI-ID 番号の設定について

サーバ本体にDATユニットを内蔵する場合は、SCSI-ID番号の設定が必要になります。SCSI-ID番号は、内蔵DATユニット背面のディップスイッチで設定します。

(1) ショートジャンパの位置



(2) ショートジャンパの設定方法



SCSI ID番号	ショートジャンパ		
	Bit2	Bit1	Bit0
0	オープン	オープン	オープン
1	オープン	オープン	ショート
2	オープン	ショート	オープン
3	オープン	ショート	ショート
4*	ショート	オープン	オープン
5	ショート	オープン	ショート
6	ショート	ショート	オープン
7	ショート	ショート	ショート

* : デフォルト設定

データカセットについて

本製品には、下記のデータカセットをお使いください。

品名	商品番号	備考
DATA CASSETTE DAT CT4000	0121160	* 4GB (120mテープ)
DATA CASSETTE DAT CT2000	0121150	2GB (90mテープ)
DATA CASSETTE DAT CT1300	0121110	1.3GB (60mテープ)

* CT4000は従来DAT装置 (FMDT-101 / FMS-DT101 / FMS-DT102) では使用できません。

使用上の注意

(1) 使用環境

データカセットは以下の環境でお使いください。

温度 : 5 ~ 35

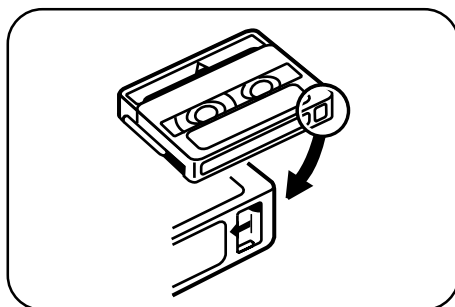
相対湿度 : 20% ~ 80% (結露しないこと。)

最高湿球温度 : 26

- ・結露を避けるため、急激な温湿度変化 (15 / 時間、20% / 時間) のもとにさらさないでください。
- ・使用環境が変わった場合は、新しい環境のもとに24時間程度放置してからお使いください。

(2) 書き込み保護について

カセットテープのデータを保護 (ファイルプロテクト) するときは、図のようにタブをスライドさせてください。



(3) データカセットの寿命について

カセットテープは消耗品であり、使用回数に限りがあります。300回を目安にしてください。なお、お使いになる環境 (温度、湿度など) や使用方法、装置のクリーニング状況によってはテープの傷みが早い場合もありますので、早めの交換をお勧めします。

仕様

型名	GP5-DT201
記憶容量	4GB (0121160 120mテープ使用時)
記録密度	61,000bpi
エラーレート (リード時)	10 ⁻¹⁵ ビット以下
実効転送速度	510KB/S (非圧縮時)
インタフェース	SCSI-2

清掃について

1 磁気ヘッドの清掃

本製品は、データの書き込み、読み出しを磁気ヘッドで行っています。

ヘッドがほこりやゴミなどで汚れると、データの記録・再生が正常に行われなくなることがあります。

このようなことを未然に防ぐために、クリーニングカセットによる定期的な清掃をお勧めします。

清掃の目安は以下のとおりです。

(1) 本製品の使用時間が5 ~ 25時間ごとに1回の割合で清掃してください。

(2) Cleanランプが点滅したとき、清掃してください。

なお、清掃後も点滅が止まらない場合は、新しいデータカセットをお使いください。

2 使用できるクリーニングカセット

本製品には下記のクリーニングカセットをお使いください。

品名	商品番号
クリーニングカセットDAT-N	0121170

GRANPOWER5000シリーズ
内蔵DATユニット (GP5-DT202)

取扱説明書

B1FY-2271-01-00

発行日 1997年5月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および
その他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
無断転載を禁じます。

A 9705-1